

市市民諸君の公平な批判を乞ふ

市民諸君へ!!

電車の従業員より

私達は諸君の生命財産を、暫く、の時間にもせよ預る重大な責任ある電車の従業員であります、私達は斯くも諸君と密接なる關係にあり乍ら、常に當局の嚴命に依り諸君と相離され、諸君から時々、誤解されてゐることを遺憾に思ふものであります。故に私達はこの聲明書を發表して一般市民諸君に叫かけなければならなく成つたのであります。

去る三月大ストライキで、市民諸君に大變御迷惑をかけた事を私達は深く御詫びすると共に以來其心持で勤務して來たのであります。

電氣局としても従業員と同じく勞資共に一大努力を以てストライキの申譯する約束であつたのであります處が、

突然 此の五月廿一日より電氣局は其約束を破りかへつて賃銀低下時間延長等を斷行して、吾々に挑戦して來たのであります。

當局 はこれに反對する者は「働かず給料を取るのだ」と言つてゐますが、私達はかゝる言は信じて得られないのであります。なぜなれば今迄爲し來つた時分制度は實施してより既に四年間でありませす。若し當局が其の「新聞紙に報導した記事の如く」今迄黙許してゐたなら其れは實に重大な事と思ふものであります。

働がずして給料を取る云々、當局が改正した運轉系統を従業員が「故意に」防害してゐると云ふ様な宣傳をしてゐるのであります。是等は最も露骨なる逆宣傳なのであります。決して吾々の行爲ではないのであります。

親愛なる六十萬市民諸君よ!!

それは當局が今より四年前に實施して市民の非難に堪へ得なく成つて、改正された制度を又々引き出して諸君の不便も非難も顧みず時代錯誤も甚だしき制度を繰返して實施したからなのであります。

更に諸君よ!! 前朝倉局長當時は、運輸日報に於て事業概算及前日の收入等は必ず發表したのであります。が、當電氣局長になつてより以來斷然之等を廢止して發表しないのみか凡ての事業方針に附ては絶対秘密主義を執り吾々従業員をして事業の一切に關して全々無智ならしめんとしてゐるのであります。然して收入減或は財政窮乏等の最もらしい言語を振り廻し全市民諸君及吾々従業員を偽瞞しつゝ、あるのであります。吾々は斯る制度のもとに屈從する事は斷じて出来ません又市民諸君に於ても吾々を此のまゝにして置く事は尙一増不安であり不便な電車に乗らなければならなくなるのであります。然も當電氣局は十月から全市民の反對をも顧みず電車賃一錢値上を實施し一大増收を計る事に決定してゐるではありませんか。それにも拘わらず電車を増車し様もしないで反對に私達従業員の月收を十圓以上も引き下げ或はより過重の仕事を強制してゐるのであります。

全市民諸君よ!!

果して之等の増收が何處へ行くのでせうか、私達は今後凡ゆる機會を通じて直接市民諸君の面前に於て事實を發表し公平なる批判を仰ぎ依て交通事業の萬全を期する爲に市民諸君の御援助を御願ひする次第であります。

右聲明す

一九二九、五

日本交通労働總聯盟

横濱市電共和會